

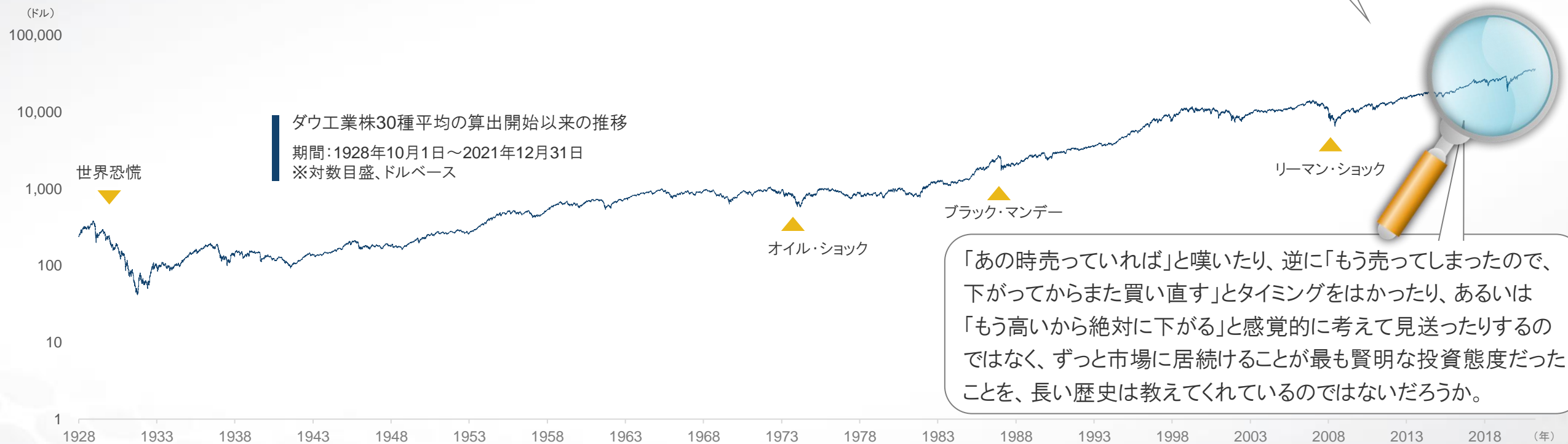
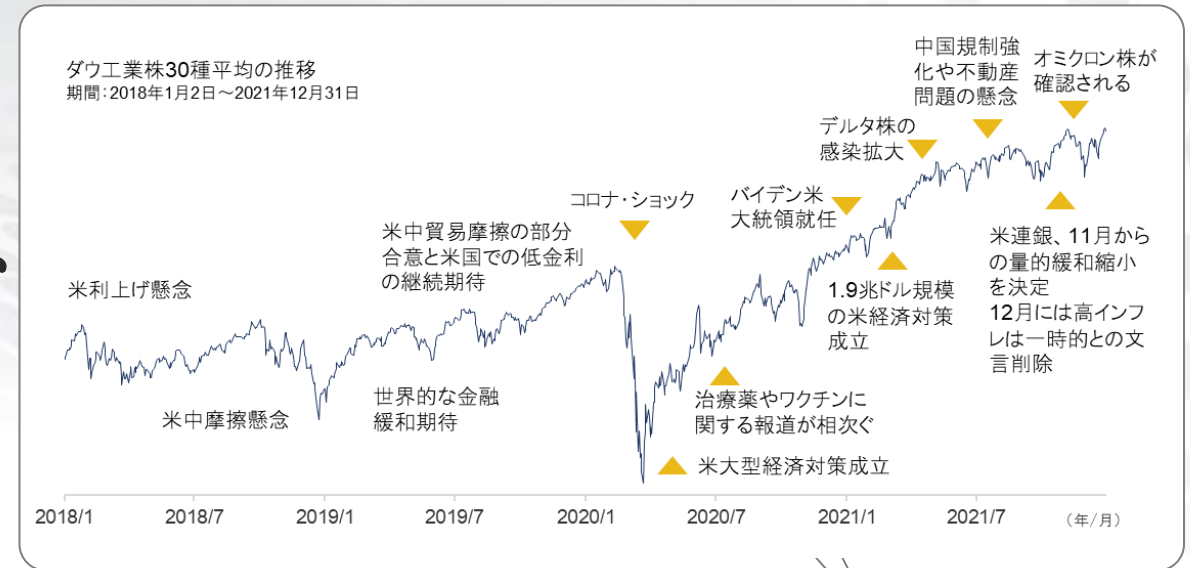
THINK BIG Invest in INNOVATION

大きく考え、
市場に居続ける。



もう一度考えたい。

本気で「将来のための資産運用」をしたいのなら、
足元の値動きに惑わされず、努めて冷静に
過去の歴史から学ぶべきではないだろうか。



「あの時売ってれば」と嘆いたり、逆に「もう売ってしまったので、下がってからまた買い直す」とタイミングをはかったり、あるいは「もう高いから絶対に下がる」と感覚的に考えて見送ったりするのは、ずっと市場に居続けることが最も賢明な投資態度だったことを、長い歴史は教えてくれているのではないだろうか。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
過去のものであり将来の運用成果などを約束するものではありません。

「相当先の、相当高いゴール」を見据えるなら、
短期投資家の思惑や、コンピュータの機械的な売買も手伝って起こる
激しい値動きは、勇気をもって「無視」を決め込むべきではないだろうか。

ましてや、世界を変えるイノベーションに着目した投資をするのなら、
Think Big (大きく考える)のスタンスが極めて重要に。

Invest in INNOVATION

イノベーション投資

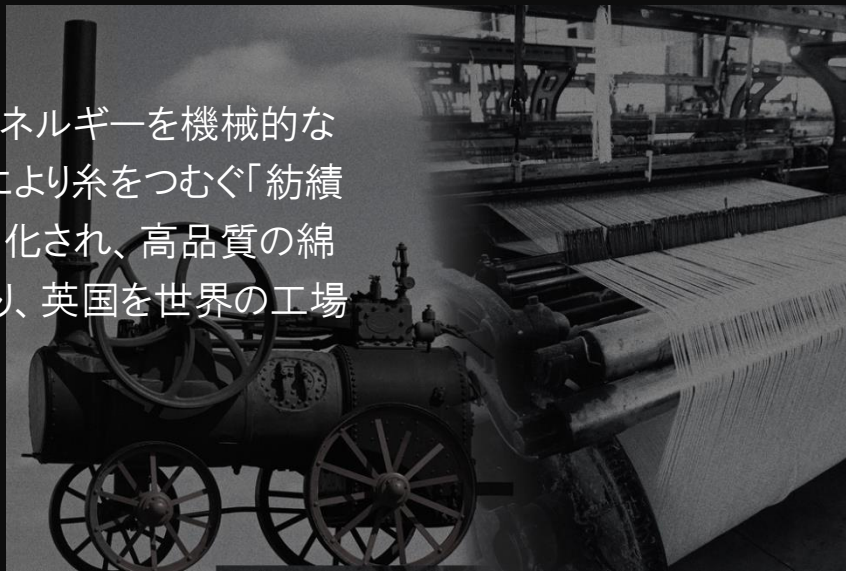
社会の在り方や人々の暮らしを「破壊的」と言えるほどに
変えてしまう新技術・商品・サービスに着目した
ダイナミックな長期株式投資。

例えば...

第一次産業革命 1700年代後半～1800年代前半

その時のイノベーションは
「蒸気機関」

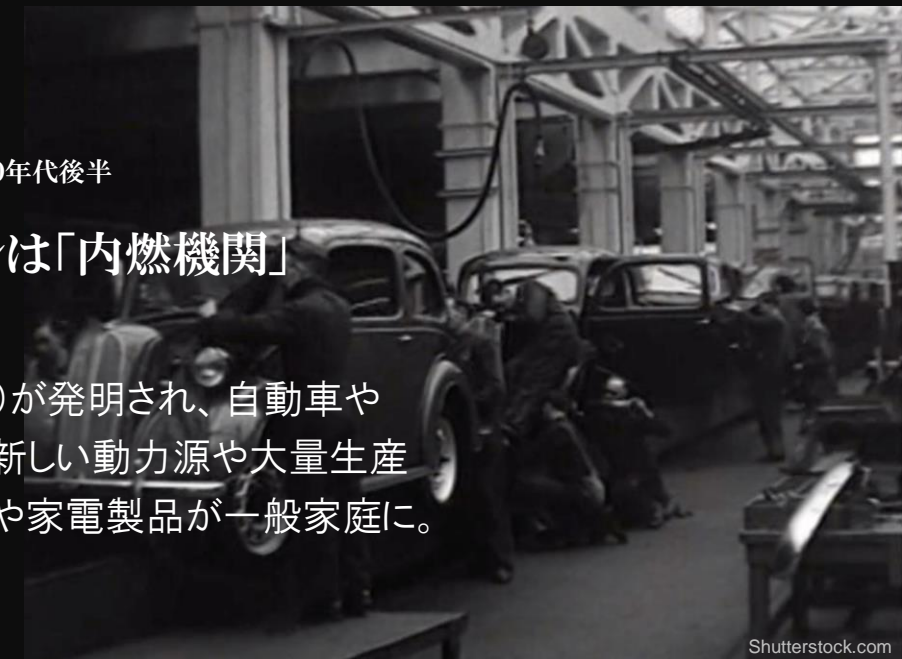
ボイラーで発生した蒸気のエネルギーを機械的な
仕事に変換する装置。それにより糸をつむぐ「紡績
機」と布を織る「織機」が自動化され、高品質の綿
製品の大量生産が可能となり、英国を世界の工場
に押し上げた。



第二次産業革命 1800年代後半

その時のイノベーションは「内燃機関」
「電気」「電話」

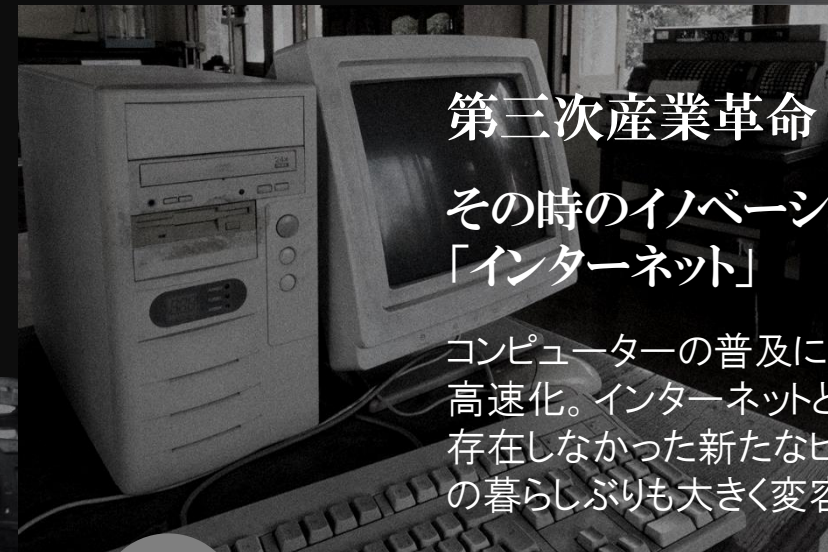
ドイツで内燃機関(エンジン)が発明され、自動車や
航空機が誕生。電力という新しい動力源や大量生産
方式の登場により、自動車や家電製品が一般家庭に。



第三次産業革命 1900年代後半

その時のイノベーションは「コンピューター」
「インターネット」

コンピューターの普及により、多くの生産工程が高度化、
高速化。インターネットと結合することにより、それまで
存在しなかった新たなビジネスモデルが登場。個々人の
暮らしぶりも大きく変容した。



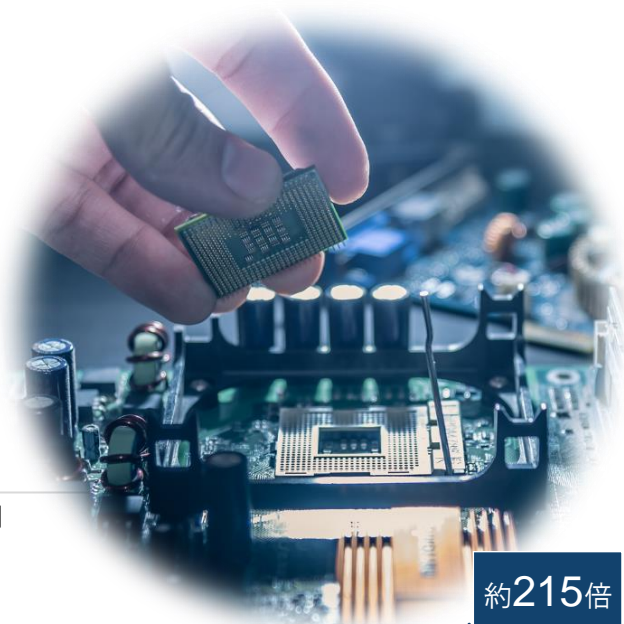
そして...

ロボティクスやIoTなどによる
第四次産業革命が現在進行中。

もし、これらイノベーションの
関連企業に投資していたら...

「イノベーション企業」の株価推移を見ると、 やはり、景気や政治のニュースに賭ける人たちとは 「違うものを見ているべき」なのだと実感できる。

1990年代後半の「コンピューター」というイノベーションをWindowsというソフトでリードした
マイクロソフトと、PCの心臓部のチップでリードしたインテル。
当時「ウインテル」とまで並び称された2社の株価は、2000年頃のITバブル後の
苦境を乗り越え、信じられないようなリターンを「我慢強い投資家たち」に提供した。



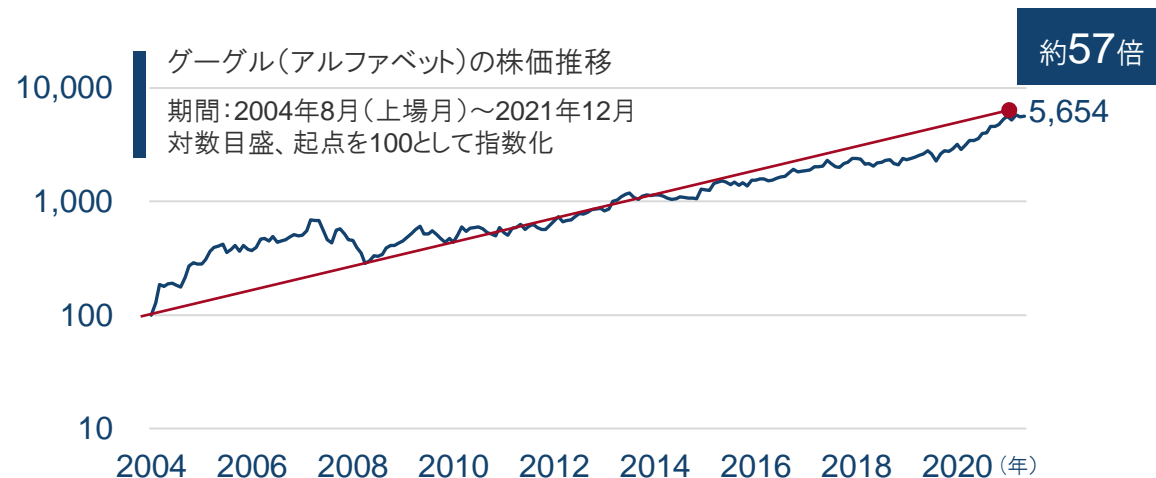
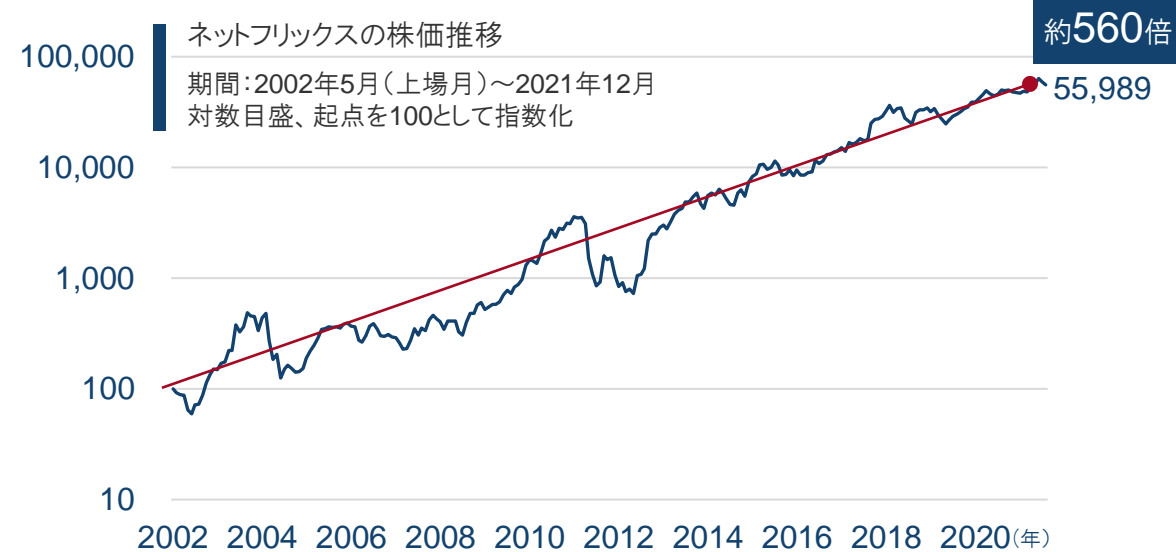
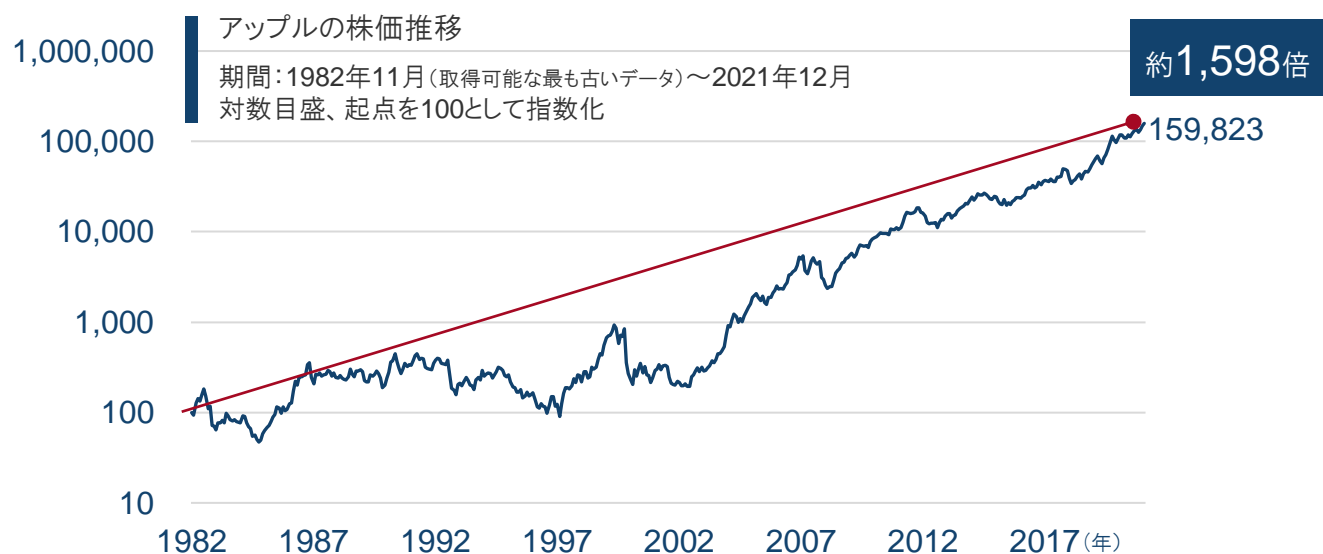
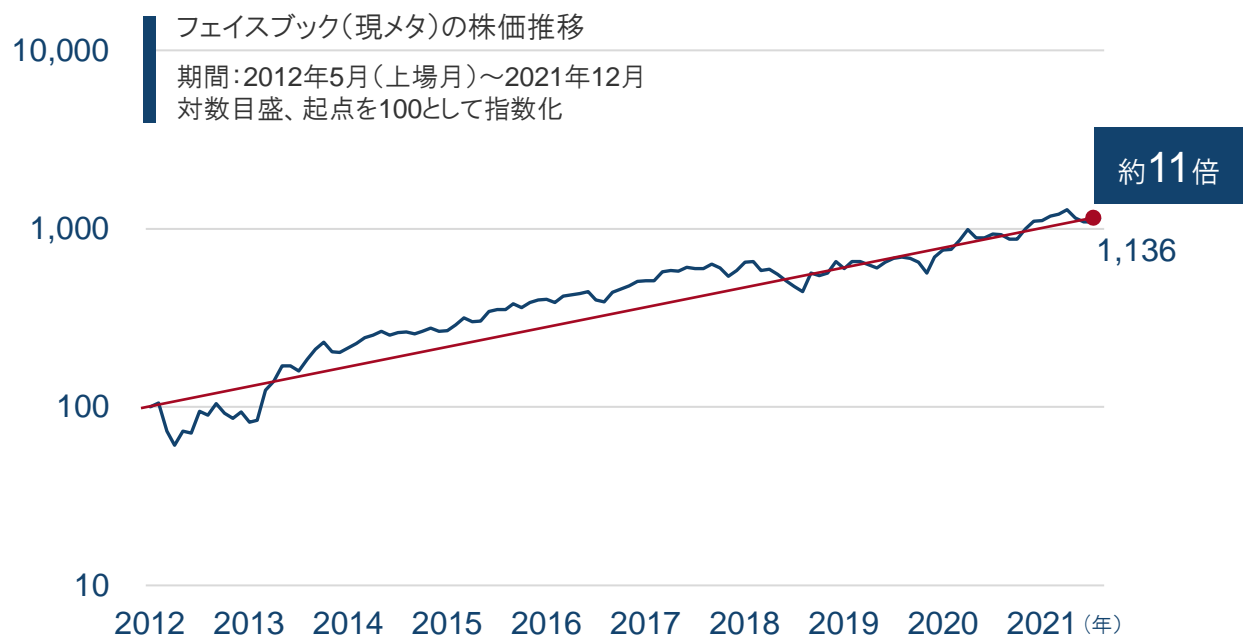
※当ページ以降の株価はすべて、配当および株式分割を考慮したものの。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成(すべてドルベース)これらは過去のものであり将来の運用成果などを約束するものではありません。

90年代後期からのPCブームを牽引した代表企業とされる2銘柄について紹介したものであり、売買を推奨するものでも将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンダにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。



2000年以降、「インターネット」というイノベーションをリードしたFAANG(フェイスブック(現メタ)、アマゾン・ドット・コム、アップル、ネットフリックス、グーグル)と呼ばれる企業は、マーケットセンチメントや短期投資家の売買に振られながらも結局は、それを物ともしない株価推移を見せてきた。



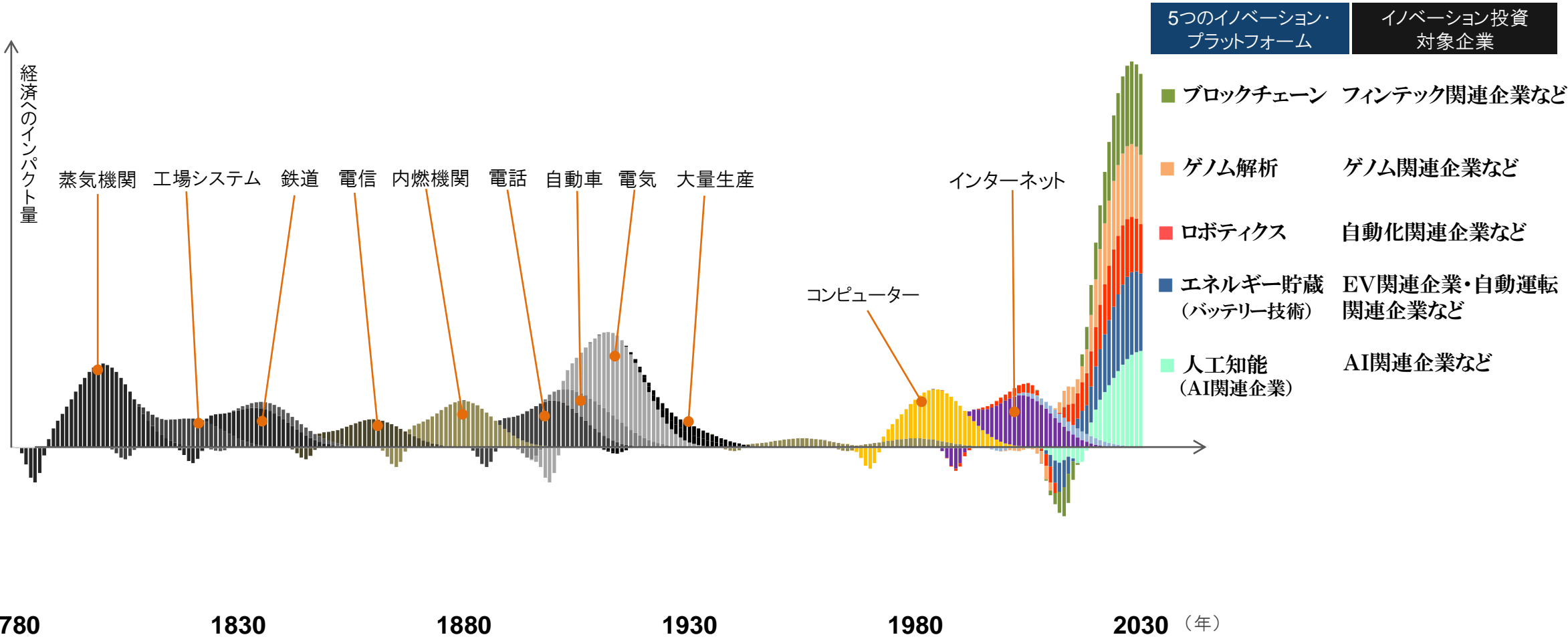
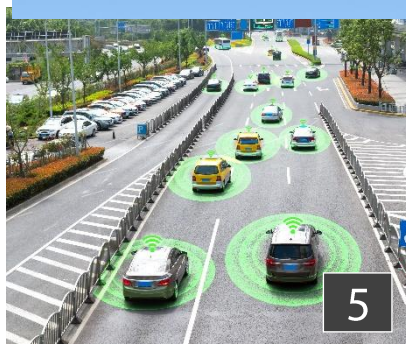
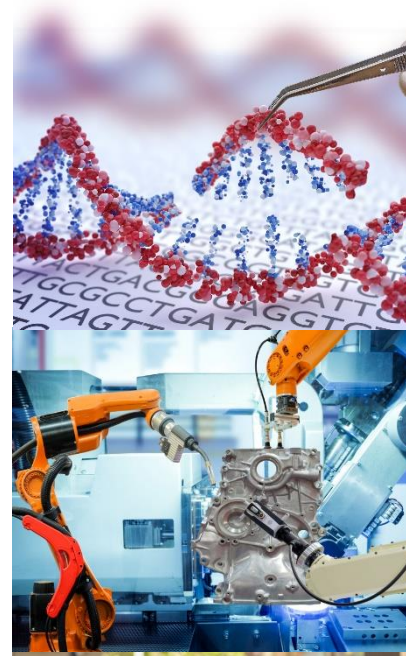
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成(すべてドルベース)これらは過去のものであり将来の運用成果などを約束するものではありません。

近年の米国IT業界における代表企業と一般に言われる「FAANG」5銘柄の株価推移を示したものであり、売買を推奨するものでも将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

そして今、向こう5年から20年において飛躍的拡大が見込まれる 「イノベーション・プラットフォーム」に着目して 大きなリターンを期待する機会が到来しようとしている。

現在芽生えつつあるイノベーションの特徴は2つ。「破壊的」と言えるようなインパクトを持つことと、それぞれが結び付いて新たなイノベーションを生み出す「プラットフォーム性」を持っていること。

例えば、ゲノム解析と人工知能が結び付いたり、ロボティクスとブロックチェーンが結び付いたりすることで、今後の社会の在り方や生活が大きく変わっていくと見られている。



出所: ARK(アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー)
 上図はARKが経済歴史学者の見解なども参考にして独自に算出した、過去と将来におけるイノベーションの相対的な経済インパクトを示したものです。
 算出にあたってはすべてのイノベーションは投資とその現実化において類似のサイクルおよび期間を要するという前提に基づいています。
 過去の試算および将来の予測については限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。

THINK BIG



nikko am
Nikko Asset Management

●当資料は、日興アセットマネジメント株式会社が投資信託についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。●当資料の図表等はすべて過去のものであり、将来の市場環境の変動等を約束するものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また記載内容の正確性を保証するものでもありません。●資料中には複数の個別銘柄名がありますが、それら企業の売買を推奨するものでも将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。